

もし家族がいなくなったら…



■まずは警察に連絡しましょう！

- 早く見つけるためには、早めの連絡が大切です。
- 防災無線による捜索を希望する場合は、警察に依頼しましょう。



徘徊 SOS ネットワークに登録しておくとおスムーズです。

認知症等のため徘徊する可能性のある方の情報をあらかじめ登録しておき、鯉沢警察署と情報を共有し、行方不明になった時、より短時間で生命を守るための捜索ができるシステムです。

登録は、市川三郷町地域包括支援センターまで。



■備えましょう！

- 衣服、靴など持ち物に名前を書いておく。
- 最近の写真を撮っておく。
- 特徴(身長、体重、本人が答えられる事など)をメモしておく。
- 連絡先を書ける「おかえりマーク」を活用する。
- 認知症について知っておく。



連絡先
おかえりマーク

認知症サポーター養成講座、受講してみませんか？

小中学校や地区の組織、ご家庭や無尽の仲間、様々な場所で開いています。認知症の人とその家族の「応援者(サポーター)」が認知症サポーターです。認知症を理解し、暖かく見守り、出来る範囲で支援する。それが大切です。5人以上集まれば、受講できます。

受講したい方は、市川三郷町地域包括支援センターまで。



認知症について知ろう！



まるやま



かとう



おざわ



くぬぎ

介護、認知症、高齢者の生活の困りごと、
ご相談ください！

市川三郷町地域包括支援センター

(市川三郷町役場本庁舎1階福祉支援課内)

☎: 055-272-1106

FAX: 055-272-1198

Mail: fukushi@town.ichikawamisato.lg.jp



ないとう



さくらい



わたなべ



あおやぎ



よこもり

市川三郷町

地域包括支援センターだより

平成 29 年 1 2 月発行

徘徊特集号



認知症高齢者「声かけ訓練」をしました！

認知症の方への声のかけ方、見つけた時の対応を学びました



10月5日、認知症高齢者「声かけ訓練」を行いました。

徘徊者役が町内を徘徊し、鯉沢警察署と連携して、防災無線を流し、捜索の模擬訓練をしました。

放送を聞いた多くの町民の方々が、徘徊者役に声をかけてくれました。訓練を通して、認知症の方への声のかけ方、対応を学びました。

事前に認知症サポーター養成講座をしました。認知症について学びました。

鯉沢警察署から捜索時の注意を聞きました。

連絡先を書けるおかえりマーク。徘徊者を見つけたらここに連絡。



認知症について知ろう！



おかえりマークを
つけました

防災無線を流して
スタート！



防災無線で徘徊者役の特徴が流れ、訓練スタートしました。
たくさんの町民の方々が、声をかけてくれました。



どこ行くの？



大丈夫ですか？



一緒に行こう！



少し座って休みましょう



鯉沢警察署に連絡し、無事保護されました。

徘徊してる人を見かけたら、 なんて声をかけよう…？



徘徊というのは、認知症の症状の一つです。
家を出て自分がどこにいるのか、家がどこかわからなくなってしまう事です。
道に迷ってうろうろしている間に、車にひかれそうになったり、転んでケガしてしまったり、長時間歩いて水分不足になり衰弱してしまう事もあります。
早い発見が大切です。見つけたら声をかけ、警察署に連絡しましょう。

声かけ判断のポイント ～こんな方に声かけ～

〈不自然さ〉

- きょろきょろ周りを見回している。同じところを何度も歩いている。
- 寒いのに薄着、パジャマを着ているなど、身なりが整っていない。

〈危うさ〉

- 車道を歩いていたたり、道路を横切ろうとする。

〈困っている様子〉

- こちらの質問に戸惑う。「わからない」と答える。
- 「ここはどこですか」と声をかけてくる。



声かけの仕方 ～こんな風に声かけしてみよう～

- ▲ゆっくり近づいて、相手の視野に入ってから話しかける。
- ▲「こんにちは」「お暑いですね」ごく普通にあいさつから。
- ▲「大丈夫ですか？」「何か手伝いましょうか？」もいい質問。
- ▲「少し休んでいきませんか？」「お茶でもいかがですか？」少し座れるように促してみる。

※不可解な言動をされても、^{きい}奇異な目で見ない。
※会話が上手くいかない時は、一度離れ、間を置く。
または近所の他の人に連絡し、助けを求める。



市川三郷町で 本当にあった徘徊のお話

①妻の長いお散歩。

ある日妻が外に出かけたきり行方がわからなくなりました。

警察に連絡し、実名で無線放送してもらい、警察と近所親戚総動員で探しましたが、見つかりませんでした。

皆が諦めて帰った夜 10 時頃、埼玉県大宮警察署から妻を保護したと、電話がありました。
翌早朝、妻を埼玉まで迎えに行ったのですが、本人は他人事のような顔をしていました。

この事をきっかけに徘徊 SOS ネットワークに登録。今も介護サービスを受けながら、自宅で私と二人で暮らしていますが、どんなに注意していても、私がトイレに行っている数分の内にも、外に出てしまう事があります。運よく近所の方が見かけて助けてくれた事もありました。

私が夫である事も忘れてしまいましたが、長年連れ添った妻、できる限り一緒に生活していけたらと思っています。



②こんな遅くにどこ行くの？

冬の夜 7 時頃、暗い中一人で不安そうに手ぶらで、ふらふらと歩いている人を見かけました。

「どこに行くの？」と聞いてみると、「すぐその家に帰る」と言います。この地域では見かけない方でした。

名前や住所を聞いても、なかなか答えられません。

「暗いから送ってくよ。」と言って、私の家で休むように促しました。ずっと歩いていたのか、とても疲れている様子でした。

警察に連絡して、保護してもらい、家族の元へ帰ることができました。

警察が調べると、隣町の方だったようです。

